

大阪府保育士会だより

平成22年9月1日

第85号

大阪府社会福祉協議会

保育部会・保育士会

大阪市中央区中寺1-1-54

TEL 06-6762-9001

ほほえみ

☆ 触れ合いの場に定着の納涼祭り



当園では毎年7月、納涼大会を開いており、地域のお祭りとして定着しています。

納涼大会では、在園児だけでなく地域の子どもたちもたくさん参加してくれますので、保育園を知ってもらいたい機会となっています。

納涼大会が終わったあとも、園庭解放で保育園に遊びに来てくださる方や、子育て教室にも参加してもらうなど、夏のお祭りが地域と触れ合う機会を増やしてくれるきっかけになっています。これからも続けていきたいと思っています。

阪南市 しいの実保育園

地域と共に ひれあひ大切に



れんげ畑で自然をたつぱり



当園では、地域の方から、田んぼの休耕期に、れんげ畑として提供してもらっています。

4月の満開の時期には、地域の小学校、公立幼稚園、私立幼稚園がれんげ畑を訪れ、子どもたちはのびのびと、れんげ草をつんだり、首飾りを作ったり、虫を見つめるなど自然とたつぱり触れ合う楽しいひとときを過ごしています。

近年、子どもたちが自然と触れ合える場所が減っていますが、れんげ畑は安心して遊べる貴重な場所として、毎年楽しみにしています。

東大阪市 めだか保育園

子育て支援シリーズ② 子育てのロジ学び、 不安解消の場

ながよしひろば



当園では平成9年から月3回、未就園児と保護者を対象に「ながよしひろば」(実施当初は、ながよしスクール)を実施しています。そのほか地域の夏祭りや子育てサークルの集いへ保育士が参加しています。

「ながよしひろば」では親子のふれあいを大切に取組んでいます。

手あそびやリズムあそび・造形あそび、戸外あそびなどを行い、楽しい雰囲気の中で、親子がのびのびと活動できるように心がけています。

春には子どもたちの日の集いで変身こつこや運動サーキットなど、夏には七夕製作や水遊び、秋には畑で収穫したさつま芋の焼きイモパーティー、冬はクリスマス会や餅つき会に参加いただき、1年間を通して保育士や園児とも交流を深めています。

初めは緊張していた親子も、やがて楽しい雰囲気になります。

和み、ごく自然に友だちができて、子育てのことを話し合ったり、保育士に悩みを相談する姿が見られるようになっています。参加された保護者の方からは、保育士が子どもと関わるようすを見ることで、書物やインターネットの情報では分からない子育てのコツなどを知ることができ、不安が解消されると好評です。

地域の夏祭りや子育てサークルの集いに保育士が参加させてもらうようになったのは、平成7年頃からです。出会いと交流の場を通して、子育ての不安を和らげ、楽しさを伝え、地域の人たちといっしょになって子育てを支えています。

堺市 堺めぐみ保育園



質の高い保育などテーマに

近畿ブロック保育研究会

大阪で開く



22年度近畿ブロック保育研究会が7月16、17の両日、「すべての人が子どもと子育てに関わりをもつ社会の実現をめざして」をテーマに、大阪・中之島の大阪国際会議場とリーガロイヤルホテル大阪で開催されました。

初日のオープニングでは大阪の伝統文化の一つ、「だんじり囃子」が披露され盛大に開幕しました。引き続き厚生労働省雇用均等・児童家庭局保育課長の今里譲氏から「保育をめぐる国の動向と課題」について情勢報告があり、そのあと8分科会に分れ研究発表が行われました。

第1分科会では「保育所保育指針に基づく質の高い保育を提供する」をテーマに、和歌山県串本町立串本保育所が「子どもの主体性を尊重しながら、基本的生活習慣の確立を目指して」



ならないよう、振り返り・消化・改善すること。また、家庭から違った生活習慣をもつてくることを理解し、無意識にならず着眼点に気付く。この気付きが大切」と強調されました。

また、大阪からは第5分科会で、津田保育園（枚方市）と大阪市立味原保育所が「食育」に絞って発表されました。

東大阪市
たいよう保育園

保育士の専門性を高める 連続研修会

—園長・リーダー・主任保育士対象に—



今年7月27日（火）から29日（木）までの3日間にわたり「保育士の専門性を高める連続研修会（園長・リーダー・主任保育士研修会）」が大阪社会福祉指導センターと大阪府社会福祉会館で行われました。今年も連続受講のほかに研修内容に

講師の交代も可能とあつて、連日約140名が参加されました。

初日は、大阪人間科学大学教授、谷晋二氏が「行動分析で学ぶ子どもとのかかわり」言葉、対人関係、困った行動」と題して講義。応用行動分析（ABA）の手法説明のあと、気になる子どもの行動を観るポイントや対応について述べられました。

また、大阪府立母子保健総合医療センター発達小児科主査、山本悦代氏から「発達検査を通じての子どもの見方・考え方」について

ての話があり、乳幼児の発達の特徴や発達検査の症例からその見方や留意点、発達と心身の状態に応じた援助のあり方などを指摘されました。

2日目は有限会社レイズ・人材育成コンサルタントの増田知乃氏が「保育所における人材育成の実践に向けて」をテーマに

「保育の質の向上には立場と役割への自覚に加え、園内のコミュニケーション」をテーマに

深化と信頼関係の構築が不可欠で、これが人材育成につながると強調。その後、園内研修や人材育成上の悩みを受講者間でグループディスカッションし、増田氏が具体的に指導されました。

最終日は大阪総合保育大学教授の大方美香氏が「環境が及ぼす3歳未満児の育ち・質の高い保育実践」と題し、発達と環境の相関や保育記録の意義、その方法について指導されました。



保育園が現在直面している多くの課題解決に取り組みためにも、保育士の専門性を高めることが求められているだけに、充実かつ有意義な連続研修会となりました。

泉大津市
アンピー



学びシリーズ⑩

「子どものおもちゃと遊び」

東京おもちゃ美術館館長

多田 千尋氏

遊びを通して学ぶ二つの大切なこと



0歳から6歳までの前期子ども期は、遊びの一流プレーヤーだ。道端で拾った石ころや葉っぱを何度も繰り返し返しお母さんの手の平に届けるだけでもわくわくできる。単調な動きを楽しむブランコやあんなにも小さいエリアしかない砂場でも、小さな子どもたちは夢中になって遊ぶことができる。遊びは子どもに様々な学習をさせてくれる。遊びを通して他の子どもとのかかわりを学び、人との対応能力も磨く。また、唯一子どもは遊びを通して集中して物事にかかわる力を身に付けたり、全力投球するスキルも備わってくる。ようするに、人間研究とエネルギー研究といった二大研究事業

精神科医でもあり作家でもあるのだいなださんは「子どものときに一生懸命遊んでいないと、大人になって一生懸命仕事ができなくなる」と話してくれたことがあった。遊びは子どもの育ちに欠かせないと考えるべきではないか。こうした二大研究事業や大人になるための育みのささやかな応援団としておもちゃがある。おもちゃは子育てを通じて遊びの主人公ではなく、ましてやおもちゃ

に絶大な力が備わっているわけでもない。そして、遊びが子どもの成長・発達を促す食事であるのなら、おもちゃはまさに食料だ。子どもにとって、おもちゃの選び方や、よいおもちゃ、悪いおもちゃの論議はスーパーマーケットで食材を選ぶことと同じ気遣いがある。栄養のバランスを整え、カロリーが低い、高いかを気にし、食品添加物を心配し、無農薬の有機農法の野菜を選ぶ食へのこだわりと、おもちゃの問題はイコールで結べる。



上甲 晃氏

上甲氏は司会から紹介されると「はい」と大きな声で返事し壇上に現れました。はつらつとした登場です。



高槻市 柱本保育園

「はい、喜んで」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

上甲 晃氏

「子どものおもちゃと遊び」

多田 千尋氏

遊びを通して学ぶ二つの大切なこと

0歳から6歳までの前期子ども期は、遊びの一流プレーヤーだ。道端で拾った石ころや葉っぱを何度も繰り返し返しお母さんの手の平に届けるだけでもわくわくできる。単調な動きを楽しむブランコやあんなにも小さいエリアしかない砂場でも、小さな子どもたちは夢中になって遊ぶことができる。遊びは子どもに様々な学習をさせてくれる。遊びを通して他の子どもとのかかわりを学び、人との対応能力も磨く。また、唯一子どもは遊びを通して集中して物事にかかわる力を身に付けたり、全力投球するスキルも備わってくる。ようするに、人間研究とエネルギー研究といった二大研究事業

精神科医でもあり作家でもあるのだいなださんは「子どものときに一生懸命遊んでいないと、大人になって一生懸命仕事ができなくなる」と話してくれたことがあった。遊びは子どもの育ちに欠かせないと考えるべきではないか。こうした二大研究事業や大人になるための育みのささやかな応援団としておもちゃがある。おもちゃは子育てを通じて遊びの主人公ではなく、ましてやおもちゃ

に絶大な力が備わっているわけでもない。そして、遊びが子どもの成長・発達を促す食事であるのなら、おもちゃはまさに食料だ。子どもにとって、おもちゃの選び方や、よいおもちゃ、悪いおもちゃの論議はスーパーマーケットで食材を選ぶことと同じ気遣いがある。栄養のバランスを整え、カロリーが低い、高いかを気にし、食品添加物を心配し、無農薬の有機農法の野菜を選ぶ食へのこだわりと、おもちゃの問題はイコールで結べる。

上甲氏は司会から紹介されると「はい」と大きな声で返事し壇上に現れました。はつらつとした登場です。

高槻市 柱本保育園

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

保育士研修会が6月30日、う日本の童謡をテーマに、葉業年金会館で開催されました。以下、内容の概略を報告します。

第1部では「大切にしよう

「五木の子守唄を知って

江戸時代から唄われている文化遺産ともいえる子守

童謡（子守唄）は意味も解

幼いころ唄ってもらった

唄ですが、今唄う親が少なくなり、子どもに伝達されていないのが実情です。

の体験が大切。「まずは、本物を感じる。そして後に

なつて理解する、この2回の体験の中で心が育つていく。特に「つ」のつくうち

（9歳まで）に本物を感じることで情感が育つ」と脳の発達と関連づけ熱く語られました。

その後、もり・けん氏のハーモニカ演奏に合わせ

「朧月夜」や「ふるさと」などをみんなで唄い、受講者は情緒豊かな童謡の世界を満喫していました。

第2部では、志ネットワーク代表の上甲晃氏が「志を高く生きる」をテーマに講演。

「志を高く」と運命を受け入れ、自分から変わってみせる勇気からすべてが始まるということです。

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏

「つ」のつく9歳までに情感は育つ

「はい、喜んで」の勇気がすべての始まり

もり・けん氏

上甲 晃氏



保育あんな工夫 こんな工夫

豊富な漬物で「もう一杯!」と食すすむ 野菜、果物作りに挑戦し楽しさ倍増



当園では柿、栗、梅、びわ、キウイなど四季折々の果物を栽培していますが、そのほかにも様々な野菜作りにも挑戦しています。

きゅうり、トマト、とうもろこし、さつまい、大根、じゃがいもなど年間を通して裏の畑で身近に成長を楽しむことができます。

子どもたちが夏野菜をその場で「パクッ!」と口に入れる姿や年長児が年下の子にとってあげたりする微笑ましい光景も見られます。

年長児はお菓子作りのほか、カレーライス、トマトスープなどを作り給食でいただきます。

4年前から調理実習で梅干し、タクアン作りも始めました。95歳になる地元のおばあちゃんに教えてもらい、子どもたちも一緒になって干した大根を樽に漬けています。

日々変化していく樽の中のようすや香りを楽しみ、数カ月後には糠と塩だけでおいしい田舎漬ができます。

毎日の給食で梅干しやしそふりかけ、きゅうりのきゅうちゃんにタクアンなど「お漬けのもう一杯!」とご飯をおかわりする子。「タクアンください」と部屋に入ってくる年下の子に「はいどうぞ、まだあるぞ」と取り分けしている年長児の優しい姿も印象的です。



子どもたち自身が栽培、収穫、調理に取り組み、食べることの楽しさが味わえるよう工夫していますが、他の面でも成長を促す効果が見られ、私たち保育士も見落としがちな点に気付かされることしばしばです。

「明るくげんきにたくましく」の保育目標とともに、自然の恵みや人のつながりに感謝し、これからも頑張っていこうと思っ



たのしい保育活動

大好き! 専科活動

英語、日本舞踊…

子どもたちの可能性広がる



当園では「音楽」「英語」「書き方」「絵画」「日本舞踊」をそれぞれ専科の先生から教えてもらっています。

音楽は絵カードを使ったリズム打ち、身体表現、ピアノ指導など年齢に応じた活動が行われます。英語では、歌やゲーム遊びから発音や単語を覚え、積極的に英語を話すことができます。

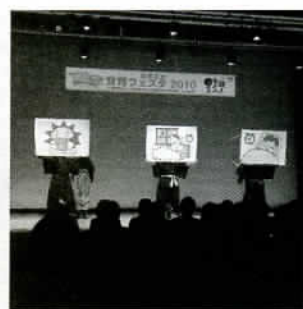
絵画はさまざまな道具や技法を使い、画用紙いっぱいへのびと描き、一人一人の個性が表現されます。

書き方では姿勢、書き順、字形、そして日記や俳句作りなどを通して、文字や文章への関心を高めます。日本舞踊は舞うことだけでなく、伝統文化を通じ礼儀作法を教わります。



第4回食育フェスタ

8月4日(水)に大丸心齋橋店で開催されました。

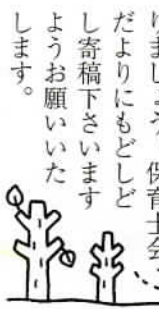


編集後記

今年の猛暑に全国では熱中症による事故も多数。皆様はいかがでしたか?

近畿ブロック保育研究会では保育士会も暑さを忘れお手伝いすることができました。

園児たちは元気に暑さしらずで汗いっぱい流してくれました。しかし、毎日のように伝えられる幼児虐待、つくづく近隣間の関わりの希薄さに思い至ります。より一層の地域連携の大切さを感じる今日この頃です。子どもの最大の利益のために力を合わせて頑張りましょう。保育士会だよりにもどしどし寄稿下さいませようお願いします。



守口市 橋波保育園